

徳島県立総合看護学校
令和5年度第1回 学校運営委員会 議事録

1 日時

令和5年8月23日（水） 午後3時30分～午後4時40分

2 場所

徳島県立総合看護学校 会議室

3 出席者

(1) 委員

長町委員長、齋藤委員、森委員、葉久委員、安井委員、岩佐委員、森口委員

(2) 委員以外

・オブザーバー

徳永課長補佐（徳島県医療政策課）、中村事務局長（徳島県医師会）

・事務局（徳島県立総合看護学校職員）

山本委託業務管理責任者、谷川副校長兼事務長、藍原副校長、水田教頭

・補助者（徳島県立総合看護学校職員）

総務担当 矢口係長、氏橋係長、遠藤事務主任

教務担当 中野第一看護学科長、齊藤第二看護学科長、小川准看護学科長

4 次第

(1) 学校長あいさつ （略）

(2) 議事等

ア 資料説明（学校運営状況等）

イ 学校運営に関する協議

5 議事

(1) 資料説明

谷川副校長兼事務長 学校運営状況等について別添資料により説明

徳永課長補佐 社会人入試（採用）枠について別添資料により説明

(2) 資料・議事録の公表

長町委員長から、会議資料（内部運営事項に関するものを除く。）及び議事録（発言者各委員名を付記。）の本校ホームページでの公表について提案し、全会一致で同意を得る。

(3) 質疑・意見等（要旨）

・葉久委員

前回休学者の内容を質問させていただいて、今回詳しくお答えいただき感謝。学校の中でメンタルケアの担当部署や担当者はおられるのか。

・谷川副校長

メンタル関係については、スクールカウンセラーに来ていただいている、できるだけそちらの方で対応していただいている。基本的には学生のケアということになるので、一義的には担任が行う。その上で学生本人をスクールカウンセラーのところに送るとすることもするし、教員がスクールカウンセラーと相談しながら学校の中で対応をしているというのが実態である。

・森委員

4年ぶりに対面開催したオープンキャンパスに195名参加ということだが、コロナ禍以前の参加人数と比べてどうなのか。

・藍原副校長

手元に明確な資料がないのだが、このような形での人数制限はしていなかったもので、少し少ないのかもしれない。コロナ禍ではウェブ開催をしたので、関心のある学生には見てもらえたのではないかな。

・長町委員長

今回、事前予約制ということで人数を決めて予約枠を設けた。以前はそういうものがなかった関係で、当日何人来るか分からない中でやっていたということもあるので、今年よりはもう少し多かったのかもしれない。

・森委員

卒業生アンケートを実施しているとのことだが、在校生に対するアンケートはされているか。

・藍原副校長

授業評価という形で授業の満足度などは行っている。学生意見箱を設置しているので、そちらでも在校生から意見などがあれば対応している。

・齋藤委員

社会人入試枠の検討に関して、准看護学科では社会人の方が非常に多いが、全体的に受験生が少ないということで、なお一層社会人が入りやすい環境をぜひ作っていただけたらと思う。

- ・ 山本管理者
18歳人口が減少しているので、社会人の人材確保が増加することを願っている。
- ・ 森口委員
卒業生のうち県外へ出て行く人の経緯、きっかけはどのようなものか。
- ・ 谷川副校長
昨年度卒業生の一部や、今年度卒業予定で県外を希望している学生に聞いてみたところ、一部は高度医療など専門的な分野に進みたいという強い希望がある。それ以外に単に都会に行きたいだけという感覚の卒業生もいる。今年度卒業予定の3年生は特に県外希望が増えている。コロナ禍の締め付けの反動から、県外に行きたいという軽い思いの学生が増えているように感じる。
- ・ 森口委員
県外からの求人募集は来ているのか。
- ・ 長町委員長
公的、民間を問わず、たくさん来ている。兵庫県などでは採用試験の時期が早いということもあって、そこで先に決めて楽になりたいという場合もあるようだ。
- ・ 山本管理者
当校の学生はほとんど県内出身だが、徳島大学では県外から来ている学生の就職傾向はどのようなものか。
- ・ 岩佐委員
県外からの学生は地元に戻る方が多い。都市部で就職する方も一定数いる。
- ・ 山本管理者
進路変更で中途退学するケースは、入学当初からモチベーションが低かったのかもしれないが、看護師になってから進路変更するようなケースは結構あるのか。
- ・ 森委員
昨年度の県内における新卒者離職率は約10%。進路変更したのかとか別の医療機関に移ったのかなど原因は定かではない。1年生の退学が多い要因の一つは、看護師を目指して入学したが、実際に勉強したり実習に行ったりする中で、自分の思っていたものと違うという認識から進路変更することも多いのではないか。
- ・ 山本管理者
18歳人口が減ってきて、応募者が少なくなる傾向の中で、看護師を目指してほしいということを、県民あるいは若い世代に対してPRしていかなければと思う。

・ 森委員

看護協会としても危機感を感じている。看護師を目指す人を増やしていかないと現場が大変な状況になるのは目に見えている。これからもしっかりやっていきたい。

・ 安井委員

実習先の病院によって勤務体制が異なることに対して、どういう体制が勤めやすいなど、学生の評価はいかがか。

・ 藍原副校長

勤務体制については聞いたことがないが、ここの病院の看護師はよく教えてくれるとか、そういうところでは良かったという話もあるが。第二看護学科では准看護師として働いている学生も多いので。

・ 安井委員

学生のときはあまりわからないかもしれないが、卒業して就職すると、三交代のところに行くと夜勤や準夜勤、日勤があり、二交代のところに行くと勤務が長い、と。長所短所いろいろあると思うが、学生実習のときにそういうことを感じていないのかなと。

・ 水田教頭

第一看護学科では、3年生の後半に夜間の実習も行うが、夜間といっても学生が安全に帰宅できる時間帯を選んで、大体21時には終わるような形の実習。準夜帯の途中くらいまでしか見ていない。勤務としては0時を過ぎてから帰るという説明はあるが、実際体験していないのであまり認識していないと思われる。

・ 安井委員

卒業後に就職していただいた中でも、何名かは夜勤を嫌がる人が出てくる。嫌だという理由が例えば子育て中であるとかということもあるが、日勤、深夜の勤務体制が嫌だという人も中にはいる。もうひとつ大きな問題となっているのは、学生のときは認識していなかったと思うが、産休・育休の問題。おそらく辞める理由の一つになっているのではないか。結婚、あるいは出産をきっかけに一時辞めるとか。勤務体制は大事だと思うが、学生のときにはわからないのかなと。

・ 岩佐委員

社会人枠の検討に関して、これまで一般入試において社会人経験のある受験者の割合や合格率はどれくらいか。

・ 水田教頭

第一看護学科では40名募集のうち25名を推薦入試で、残り15名を一般入試でとるが、今年度入学生の受験状況をみると、一般入試では出願者50名、受験者43名であった。社会人の出願者は3、4名程度、受験者は2名くらいだったと思う。

・岩佐委員

社会人枠を検討していくのであれば、学力をどうやって測るのが課題ではないか。先の説明では、普通高校以外の方に対しては入学までに学力を埋めるような手当をしているということだが、やはり入学後の授業についていってもらうことを考えると、そのような手当も必要だと思う。社会人枠の検討と同時に、そういった点の検討もお願いしたい。

・長町委員長

安井委員からお話があった交代制勤務に関して、何か御意見があれば。

・森委員

日本看護協会では、できるだけ日勤・深夜という勤務体制を少なくしようとか、負担軽減に向けていろいろな推奨をしているところだが、なかなかうまくいっていない。働きやすい勤務体制を検討しているところだが、なかなかすぐにはいかない。それぞれの病院で工夫しながら動いているという現状だと思う。

・安井委員

昔はほとんどの病院で三交代だったので、看護学校に入学する時点で、自分が卒業したら夜勤をするのが当然だと思っていたはずだが、面接時には「やります」と言っている人も何年か経つと嫌だと言いだす人がいる。日勤・深夜が好きな人はいないとは思いますが、勤務を組むには日勤・深夜をやらないと回らない。そうすると、看護の仕事はいいけど、勤務体制は嫌だとなってくる。実習に行ったら、自分で体験しなくても見ていればわかると思う。以前はどの病院も三交代だったが、今は大学で二交代をやっている。長所短所あるが、どちらかというとも長所が多いように思う。二交代している人は三交代には戻れないと言っている。どちらかといえば二交代が楽なのだろうと思うが、そういうことは学生のときには認識しないのだろうなと。

・山本管理者

病院実習のときにそういうことも学ばなければいけない。

・水田教頭

若者の意見から言うと、やはり手当という魅力的なものがあれば、夜勤にメリットがある給与体系になってくると違ってくるのかなと思うが、病院の運営に大きく関わる場所なので。

- ・安井委員

夜勤をすれば次の給料が上がるわけだから、若者はそれを望むと思っていたのだが。確かにそういう人もいるが、一般的にいうと、中高年の方が我慢してやっている。なぜこんな大変な仕事をしなければと言うのは、大体が若手。それと、産休・育休は若手が取るので、それをきっかけとして元の仕事には戻れないと。育休にも限度があるので、子育てにおいて勤務体制はネックではないか。

6 次回開催

- ・長町委員長

次回開催は来年2月頃を予定している。

以下余白